

事務事業名		寝たきり高齢者等紙おむつ券給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係		担当課長名	片柳利幸
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 介護保険サービスの充実と介護予防の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	20218	介護(保)	4	2	5	寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		国県補助事業			任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成3年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市寝たきり高齢者等紙おむつ券給付事業実施要綱					
						実施方法		直営			
						事業分類		現金・現物給付事業			
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
在宅の寝たきり及び認知症高齢者に対し、紙おむつ券を給付し、高齢者及び介護者の福祉の向上を図る。 窓口相談により事業に該当するかどうかを確認し、申請を受付。内容を審査し、決定通知(申請月の翌月より該当)。紙おむつ券を郵送により本人に交付する。該当者は委託事業者(薬局等)から紙おむつを購入する際、1か月に2,000円の助成券を利用できる。		在宅の寝たきり及び認知症高齢者に対し、紙おむつ券を給付し、高齢者及び介護者の福祉の向上を図った。						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		利用人数	人	668	749	800		
		延利用月数	月	5,055	5,186	5,600		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
在宅の65歳以上で寝たきりや認知症のため6か月以上引き続き紙おむつを使用している方		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		65歳以上高齢者数	人	31,140	32,923	34,706		
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
紙おむつを購入する際の購入代金の一部助成が受けられる。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		一人当たり利用月数	月	7.6	6.9	7.0		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)								
必要な時に適切な介護保険サービスが受けられるようにする。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		要支援・要介護認定率	%	-	18.2	18.2	18.5	18.8

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	4,048	4,156	4,292					
	県支出金	千円	2,024	2,078	2,146					
	地方債	千円								
	その他	千円	2,024	2,078	2,146					
	一般財源	千円	2,153	2,210	2,422					
	事業費計(A)	千円	10,249	10,522	11,006	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			印刷製本費	22	印刷製本費	27	印刷製本費	50		
			通信運搬費	117	通信運搬費	123	通信運搬費	156		
介護用品給付費			10,110	介護用品給付費	10,372	介護用品給付費	10,800			
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	500	500	500						
人件費計(B)	千円	1,946	1,971	1,971	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	12,195	12,493	12,977	0	0				

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ券給付事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成3年度に、在宅で寝たきり及び認知症の65歳以上の高齢者を介護している方を支援するために、紙おむつ券の給付を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年度から介護保険法改正により県の補助が廃止され、一般財源化された。平成21年度より、介護保険の地域支援事業として実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	紙おむつ券を民生委員から手渡されるのは嫌だという声が多く聞かれたため、平成22年度からすべての利用者に郵送で送る事とした。入院、入所しても利用できるようにしてほしいという要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 この事業は、在宅の65歳以上者で寝たきりや認知症のため6か月以上引き続き紙おむつを使用している高齢者に紙おむつを購入する際の購入代金の一部助成をする目的で実施しているため、対象と意図は合っている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 この事業は、紙おむつを購入する際の購入代金の一部助成をする目的で実施しているため、市で行わなくてはならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、在宅の65歳以上者で寝たきりや認知症のため6か月以上引き続き紙おむつを使用している高齢者に、紙おむつを購入する際の購入代金の一部助成をする目的で実施しているため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 対象者には、広報紙を通じ、また民生委員、ケアマネジャーから事業の周知が図られており、給付を必要とする方へは給付が行き届いており、成果が出ている。平成23年度から支給要件を寝たきりの方は介護認定が要介護3以上とすることで、判断基準が明確となるが成果向上とまではいかない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 1か月2,000円の助成であり、利用者は増加傾向にあるため、これ以上削減することはできない。人件費についても、必要最小限の人数で対応しており削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 1か月2,000円分の紙おむつ購入費の助成であり、それ以外の経費は個人負担であるため、現在の受益者負担は適正であると考えている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 在宅介護を推進する観点から1か月2,000円分のおむつ券であるが、本人又は介護者の経済的・精神的負担を軽減し、介護意欲の向上につながるため休止・廃止することはできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			